

平成23年12月26日

東京電力株式会社

滞留水処理WG

滞留水処理の活動方針

1. 目的

滞留水処理を安定的に行うこと及び滞留水量の減少を目的に、現行施設の信頼性向上、滞留水量の低減方策、滞留水処理に係る課題について検討を行う。

2. 実施内容

- 現行水処理施設の信頼性向上等について検討を行い、2012 年内に主要な対策を実施するとともに、その後においても継続的に改善を実施
- 現行水処理施設では除去が困難なセシウム以外の放射性物質も除去可能な多核種除去設備を2012 年内に導入
- 地下水のタービン建屋等への流入抑制、滞留水量低減のため、サブドレン水位低下にあわせたタービン建屋等の水位低下を検討・実施

3. 主な課題

- 増水の原因となる原子炉建屋等への地下水の流入に対する抜本的な対策（サブドレンの汲み上げ）
- 水処理施設の除染能力の向上確保（多核種除去設備の設置）や故障時の代替施設も含めた安定的稼働の確保方策（水処理施設の信頼性向上）
- 汚染水管理のための陸上施設等の更なる設置方策（タンク増設）
- 水処理に係る地元自治体・関連団体への理解促進

4. 予定

① 至近1ヶ月の予定

- ✓ タンク増設
- ✓ 現行水処理施設の信頼性向上対策の検討
- ✓ 水処理に係る地元自治体・関連団体への理解促進活動

② 至近1年間の予定

- ✓ タンク増設
- ✓ 多核種除去設備の設置
- ✓ 循環注水ラインのループ縮小
- ✓ 現行水処理施設の信頼性向上対策の実施
- ✓ 地下水流入対策の実施（サブドレンピット復旧、サブドレンの汲み上げ）
- ✓ 水処理に係る地元自治体・関連団体への理解促進活動